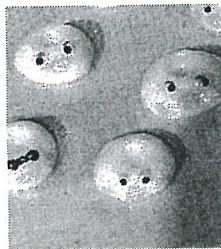


若手芸術家の発想 「細工カマボコ」に 高岡市で展示会

職人と大学生が組んで
新時代のカマボコを提案

ゆるキャラ「ぼこちゃん」
も登場



――。富山県蒲鉾（かまぼこ）組合青年部「蒲友会（ほうゆうかい）」の細工職人と富山大学芸術

文化学部が若手クリエイターらによる展示会「かまぼこ大学」が19日、高岡市御旅屋町の芸文ギャラリーで始まった。

富山ではタイをかねたどった細工カマボコが結婚式の引き出物の定番とされるが、晩婚化や少子化などを背景に売り上げが減少している。かまぼこ大学の取り組みは昨年11月の工場見学から始まり、学生らが歴史を学んで新商品を提案。料理人に意見を聞いた上で「細

工蒲鉾の日」（3月19日）の発表にこぎつけた。

展示会では県東部と西部で製法が異なるなど富山の細工カマボコ文化を紹介。カマボコ製で食べられる小さな器、ゆでればだしが出るうどん風カマボコ、実物そっくりの「マジ真鯛（まだい）」、弁当のおかず用に考案したゆるキャラ「ぼこちゃん」が登場した。

お断り 「深層インタビュ」は休みました。